

# 古典西山

NO.35

桜庭一樹が読む



マーク・トウェイン

## 「ハックルベリー・フィンの冒険」

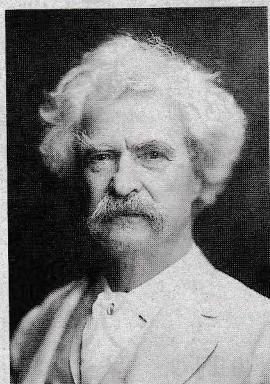
「さあ、ジム、これでまた自由人になつたんだ。もう二度と奴隸にはされねえよ」

舞台は南北戦争前のアメリカ中西部、ミズーリ州ののどかな町。不良少年ハックは、酔いどれ暴力親父のもとから家出し、逃亡奴隸ジムと一緒に、筏でミシシッピ川を下りだした。どこまでも、どこまでも……！

本書はトム・ソーヤーの冒険の続編だ。だから二人の主人公を比べられることが多いのだが、トムが“大人になつたら町の名士になりそうなガキ大将”の対し、ハックのほうは“貧

乏クジを引くアメリカン・ヒーロー”タイプの少年である。

……と言われると、読む前から、俄然、ハックを最貞したくなっちゃいませんか？ ねえ？ ハックの特性は、世間の決まりごとも、法律も、偉い人の命令も、あんまり信じないとこらだ。じや、なにをもとに行動して



Mark Twain  
(1835~1910)。  
米国の作家。



上・下、土屋京子訳、  
光文社古典新訳文庫  
各1296円

この不良少年こそが、良きアメリカ人の定型なのだ。文学的にも、フォーカナーやヘミングウェイなど、後続作家に多大な影響を及ぼした。本書はアメリカ文学の正典に相応しい、華々しき一冊だ。

(小説家)

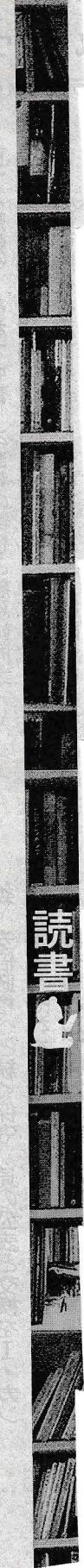
のか？ それは“本能”と、善人として生まれたせいで潜在的に持っている“良心”なのだ。

危険を冒して逃亡奴隸ジムを助けたのも、思想的な行動ではない。そうするべきたと直感したから。それと、友達だからだ。

既存の権威を否定して、自分なりの道徳を発明し、仲間を命がけで守るのが彼の生き方だ。そして、それこそまさに、老いたる巨人ヨーロッパに対する、若き国家アメリカの在り方の擬

人化だったのではないか？

## 読書



ところでおわらしは、小学生のとき以来、久しぶりに本書を読み返した。そして、ハリウッド映画やドラマを通して、自分が

繰り返しハックと再会していたことに気がついた。たとえばトム・クルーズやブラッド・ピットが演じた愛すべき不器用な若者たち。ドラマ「24-TWENTY FOUR」「ER 緊急救命室」などの主人公……。百三十年以上前に生みだされたこの不良少年こそが、良きアメリカ人の定型なのだ。文学的にも、フォーカナーやヘミングウェイなど、後続作家に多大な影響を及ぼした。本書はアメリカ文学の正典に相応しい、華々